

中1 | 解答・訳編：解答・解説

問1の正解：ウ

根拠：Amyの発言にある We made traditional Japanese sweets together. (私たちは一緒に日本の伝統的なお菓子を作りました) に着目します。直前で with my brother (弟 [兄] と一緒に) と述べているため、Amyと兄弟が祖母と一緒にお菓子を作ったことになり、ウが一致します。

誤答の分析：アは「一人で行った」となっているため誤り (兄弟と一緒に) 。イはKenが行ったことになっているため誤り。エは祖母がAmyの家に来るのではなく、Amyがまた祖母を訪ねたい (I want to visit her again) と述べているため誤りです。

問2の正解：She went there by train. または By train.

根拠：Kenの Did you go there by train? に対して、Amyが Yes. I took the train with my brother. と答えています。疑問詞 How (どのようにして、どんな交通手段で) に対する返答として、電車で行った事実を述べます。

問3の正解：祖母と一緒に日本の伝統的なお菓子を作ること

根拠：代名詞 It は直前の文 We made traditional Japanese sweets together. の動作全体を指しています。「伝統的なお菓子を作ること」という要点を過不足なく記述します。



中1 | 訳

スラッシュ区切り訳：

Ken: Hello, Amy. / こんにちは、エイミー。

What did you do / あなたは何をしましたか / last Sunday? / この前の日曜日に。

Amy: Hi, Ken. / こんにちは、ケン。

I visited my grandmother / 私は祖母を訪ねました / in Kyoto. / 京都にいる。

She lives / 彼女は住んでいます / near an old temple. / 古い寺の近くに。

Ken: That sounds nice. / それはいいですね。

Did you go there / そこへ行きましたか / by train? / 電車で。

Amy: Yes. / はい。

I took the train / 私は電車に乗りました / with my brother. / 兄弟 [兄・弟] と一緒に。

We arrived in Kyoto / 私たちは京都に到着しました / at ten in the morning. / 朝の10時に。

Ken: What did you do / あなたは何をしましたか / at your grandmother's house? / 祖母の家で。

Amy: We made traditional Japanese sweets / 私たちは日本の伝統的なお菓子を作りました / together. / 一緒に。

It was difficult, / それは難しかったです、 / but we had a good time. / でも私たちは楽しい時間を過ごしました。

My grandmother gave me / 祖母は私にくれました / a beautiful book about Kyoto. / 京都に関する美しい本を。

I want to visit her / 私は彼女を訪ねたいです / again next month. / 来月また。



中2 | 解答・訳編：解答・解説

問1の正解：イ (because)

根拠：第1段落の I thought that studying English was boring because I only memorized new words and grammar rules for tests. に基づく問題です。「テストのために単語や文法を丸暗記していただけだったから」という理由を表す接続詞 because が適切です。

問2の正解：イ

根拠：Jackは第2段落で "Communication is more important than perfect grammar." (完璧な文法よりもコミュニケーションのほうが大切だ) と述べています。選択肢イの「完璧な文法を持つことが最も重要だと伝えた」という内容は本文と真っ向から矛盾するため、不一致として選びます。

問3の正解：Because he wants to communicate with many people around the world. (または He wants to communicate with many people around the world.)

根拠：第4段落の Now, I study English every day because I want to communicate with many people around the world. から該当箇所を抜き出し、主語を I から he に、動詞を三人称単数現在形の wants に変換して答えます。



中2 | 訳

私の名前はユウトです。中学1年生のとき、私は英語が得意ではありませんでした。テストのために新しい単語や文法規則を丸暗記していただけだったので、英語の勉強は退屈だと思っていました。

しかし、去年の夏、ある出来事が私の考えを変えました。オーストラリアからの生徒であるジャックが私たちの学校に来たのです。先生は私に、学校の中を彼に案内するように頼みました。最初は英語を上手に話せなかったのが、とても緊張しました。しかしジャックは微笑んで、私の言うことを注意深く聞いてくれました。彼は言いました。「間違えることを恐れてはいけないよ。完璧な文法よりもコミュニケーションのほうが大切なんだ。」

彼の言葉は私に勇気を与えてくれました。私は学校行事を説明するために、簡単な英語と身振り手振りを使おうとしました。私たちはスポーツ、給食、音楽について話しました。彼が私の言葉を理解してくれたとき、私はとても嬉しかったです。

ジャックがオーストラリアに帰った後、私たちはメールのやり取りを始めました。今では、世界中のたくさんの人々と意思疎通を図りたいので、私は毎日英語を勉強しています。言語を学ぶことは、新しい世界への扉を開くことなのです。



中3 | 解答・訳編：解答・解説

問1の正解：

1点目：食料の生産に使われた多くの水、土地、エネルギーなどの天然資源が無駄になってしまうこと。

2点目：食べられなかった食料をごみとして焼却する際に、地球温暖化の原因となる二酸化炭素が大量に発生すること。

根拠：第2段落の First, producing food requires a lot of natural resources... When food is wasted, all the resources used to produce it are also wasted. および Second, when uneaten food is burned as garbage, a large amount of carbon dioxide is produced. This causes global warming... を整理して記述します。

問2の正解：イ

根拠：第3段落の In a food drive, people collect food which is left at home and donate it to people in need. (フードドライブでは、人々は家庭に残っている食料を集め、困っている人々に寄付します) に合致するイが正解です。

問3の正解：future

根拠：最終文の Small actions taken by each person will save our future. (一人ひとりによって取られた小さな行動が、私たちの未来を救うのです) に基づきます。

問4の正解：ウ

根拠：第3段落の For example, some supermarkets sell food that is close to its expiration date at lower prices. がウの内容と完全に一致します。

誤答の分析：アは「スーパーやレストランでのみ起きる」が誤り (家庭でも起きる)。イは「水や土地をあまり使わない」が誤り (多くの資源を使う)。エは「生徒には何もできない」が誤り (簡単なことができる」と記述)。



中3 | 訳

食品ロスは現代の世界において最も深刻な問題の1つです。毎年、まだ食べられるにもかかわらず、大量の食料が捨てられています。この問題はコンビニエンスストアやレストランだけでなく、私たちの家庭でも発生しています。

なぜ食品ロスは地球にとって良くないのでしょうか。第1に、食料を生産することは土地、水、エネルギーといった多くの天然資源を必要とします。食料が無駄にされるとき、それを生産するために使われたすべての資源も無駄になります。第2に、食べられなかった食料がごみとして燃やされるとき、大量の二酸化炭素が排出されます。これは地球温暖化を引き起こし、私たちの環境を傷つけます。

近年、多くの人々や団体が行動を起こし始めています。例えば、一部のスーパーマーケットでは、賞味期限が近い食品を割引価格で販売しています。さらに、「フードドライブ」と呼ばれる活動が多くの都市で盛んになっています。フードドライブでは、人々は家庭で余っている食料を集め、困っている人々に寄付します。この活動を通じて、食品ロスと貧困の両方を同時に減らすことができます。

私たち学生には何ができるのでしょうか。私たちが今日から始められる簡単なことがあります。買い物に行くときは、必要なものだけを買うべきです。食事をするときは、お皿の上のものをすべて食べきるべきです。私たちが日々の習慣を変えれば、大きな違いを生み出すことができます。一人ひとりの小さな行動が、私たちの未来を救うのです。

